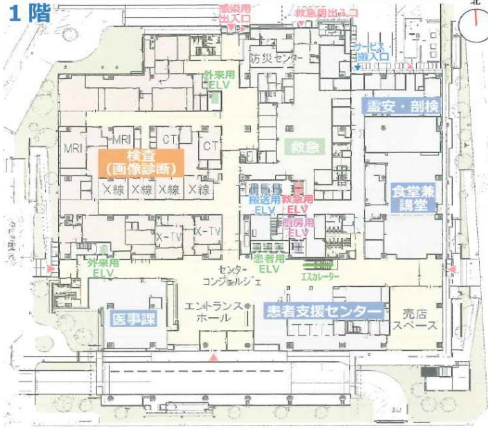


平面構成 (1~3階)



1階

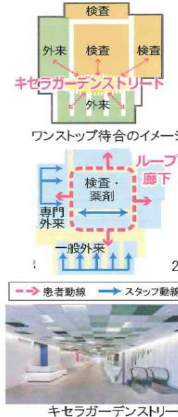
- ・東西南北のマルチエントランスを結ぶクロス廊下の構成とします
- ・センターコンシェルジュをすべての入口が見える位置に設けます
- ・病院正面入り口付近に患者支援センターを設置し、患者様や地域の方が相談しやすい環境を作ります
- ・スタッフが患者支援センターにアクセスできるスタッフ動線・階段を整備し、多職種連携で医療サービスが行える環境を整えます
- ・公園側にスタッフ食堂兼講堂を整備し、災害時には公園と一体的に避難拠点等に活用できる計画とします
- ・公園側の眺望のよい場所に、カフェ・売店を設けます
- ・救急センターはストリートな救急動線と専用ELVで手術室まで最速搬送できるよう計画します。また、救急センターの横に放射線部門を配置。CT、X線、MRIへ最短動線で搬送できる計画とします



2階



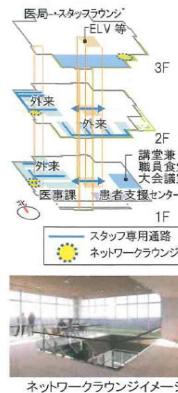
- ・患者様にとってわかりやすいメイン待合（キセラガーデンストリート）とループ廊下の計画とします
- ・キセラガーデンストリートは外部テラスと連続させ公園とのつながりを大切にしたい計画とし、患者様が好みの場所で待つことができる、どこでも待合の計画とします
- ・検査・薬剤部門を中心としループ廊下を配置し、各科を結ぶように計画。外来と検査の中心に設置し、患者様の移動を最小化にします
- ・待合や廊下端部は光が差し込むオープンエンドの計画とします
- ・44室のフリーアドレスの診察室を配置。患者様の混雑状況に応じて柔軟に運用することができます
- ・患者動線とスタッフ動線を完全に分離し、スタッフが動きやすい環境を整えます



3階



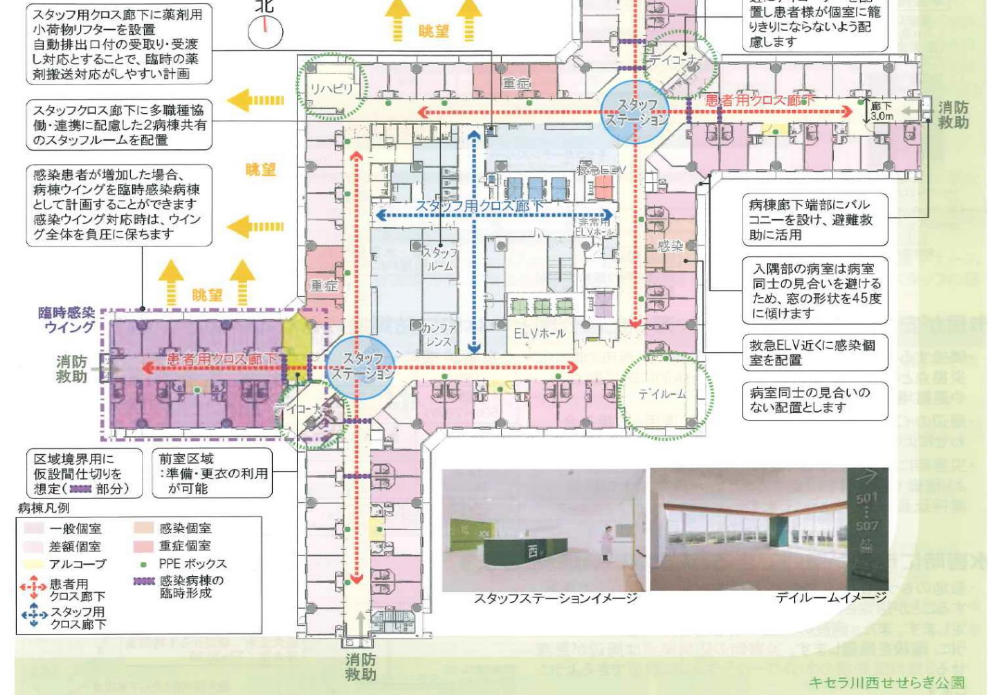
- ・オペ室7室と将来増築用1室分のスペースを確保し、隣接してHCU20床（将来6床ICU 想定）を配置します
- ・物流拠点をELVに近い中央に配置し、物流動線を短縮します
- ・公園に面した南側に医局や管理部門を配置。隣接してネットワークラウンジを設けます
- ・コミュニケーションスペースの階段からは、2階の外来のスタッフエリアを経由して、1階の患者支援センターまでつながります
- ・多職種が集まり、つながるためのネットワークラウンジを設けます



平面構成 (4~9階)

全室個室トリプルクロス病棟

- ・病棟は全室個室の廊下の見通しがよく、病棟廊下をクロス型とし、その交点にスタッフステーションを配置します。2つのスタッフステーションを結び、患者搬送や物流動線の効率化を図るために、スタッフ廊下もクロス型とし、1フロアのトリプルクロスの病棟計画としますこの平面構成は、病室間での見合いを無くすことにも寄与し、川西の豊かな自然がすべての個室から眺められるように配慮します



- ・スタッフ用クロス廊下に薬剤利用小荷物リフターを設置。自動排出口付の受取り・受渡し対応とすることで、臨時の薬剤搬送対応がしやすい計画
- ・スタッフクロス廊下に多職種協働・連携に配慮した病棟共有のスタッフルームを配置
- ・感染患者が増加した場合、病棟ウィングを臨時感染病棟として計画することができます。感染患者対応時は、ウィング全体を負圧に保ちます
- ・区域境界用に仮設置仕切りを想定（部分）
- ・前室区域：準備・更衣の利用が可能
- ・病棟凡例
 - 一般個室
 - 差額個室
 - アルコール
 - 患者用クロス廊下
 - スタッフ用クロス廊下
 - 感染個室
 - 重症個室
 - PPEボックス
 - 感染病棟の臨時形成
- ・ナースカーを置いてサブステーション拠点として利用できるバルコニーを配置
- ・一般病室用のトイレを分散配置し、4室につき1ヶ所を目安に計画します
- ・スタッフステーション直下にデイクォーターを配置し患者様が個室に籠りきりにならないよう配慮します
- ・病棟廊下端部にバルコニーを設け、避難救助に活用
- ・入居部の病室は病室同士の見合いを避けるため、窓の形状を45度に傾けます
- ・救急ELV近くに感染個室を配置
- ・病室同士の見合いのない配置とします

8階



9階



- ・個室は洗面+ユニットシャワートイレ付の差額病室と洗面のみの一般病室の2タイプを基本とします
- ・天井高さは2.7m。病室間の見合いをなく、大きな窓から川西の豊かな自然が眺められるようにします
- ・日影規制でセットバックした8階には混合病棟24床（特別1床室2室）と、新生児室4床を含めた産科病棟25床を配置